

Sonus faber®

LUMINA





積み重ねてきたスピーカーづくりの技と感性を シンプルで美しいフォルムに凝縮。

極上の音を、シンプルな形でお届けしたい。LUMINA (ルミナ) は、
そうしたソナス・ファベールの思いから生み出された新たなコレクションです。

スピーカーの歴史に絶えず革新をもたらしてきた、そのたしかな技と感性。

そして、音楽を愛するがゆえの、他に類を見ない豊かな表現力。

ソナス・ファベールの力量は今、驚くほどミニマルな美をたたえる造形のなかに結実します。

ラテン語で「光」を意味するLUMINA。その名前に込められているのは、LUXURY、MINIMAL、NATURAL。
いっさいの虚飾を排したミニマルなスピーカーデザインにおいて、ソナス・ファベールが追求してきた、ナチュラルにして芳醇、
かつ濃密な音の輝きを味わっていただきたいという思いを表わしています。

LUXURY

MINIMAL

NATURAL

LUMINA



Piano Black

Wenge

Walnut

木材の力を活かす伝統の技術。 そこに宿る不動の哲学。



■伝統のノウハウが結実

ソナス・ファベールはこれまで、木材を積層させることで不要振動を吸収・分散しつつ、剛性を高めながら木材の“響き”を活かすという、一見相反する難しい命題を軽々とクリアしてきました。

ソナス・ファベールは、“ルミナ”コレクションにもその技と感性を惜しみなく適用、7層構造のプライウッドをフロントバッフルに採用しています。その上、表面突き板間の接合部にメイプル材を挟むことで、不要振動や共振の低減を徹底。それはまさに、長きにわたって蓄積してきたスピーカー哲学の象徴と言えます。

仕上げ材には、ウォルナットの他、“オマージュ・トラディション”シリーズで初めて登場した“ウェンゲ”、そしてシックな“ピアノブラック”をご用意しています。

一方、エンクロージャー全体をレザー素材で包みこんで音響を制御する手法もまた、創業以来追求してきた、ソナス・ファベールのスピーカーデザインの象徴です。

木材とレザーなど異種素材を巧みに組み合わせ、それぞれの特質を音響設計に活かしていく。スピーカー史を革新したそのコンセプトは、“ルミナ”コレクションでも確実に受け継がれています。

■独自のバスレフ設計

“ルミナ”は、いずれのモデルもボトム・バスレフ方式を採用していますが、2ウェイ・ブックシェルフモデル“Lumina I”と、3ウェイ・フロアスタンディングモデルの“Lumina III”、それぞれのポート設計には違いがあります。

まず“Lumina I”では、底面に向かう音圧をキャビネット底部に設けたポートから前面に放射する方式を採用。これにより、後方壁面に近づけて設置するなど、設置条件に関わりなく、精度高くダイナミックな低域再現が可能になっています。

一方、“Lumina III”では、キャビネット底面にポートを設けることで、フロアスタンディング型ならではの雄大なパフォーマンスを実現、音圧を360°に拡散することで、設置条件に関わりなく、力感あふれる低域再現性を確保することができます。

■不要振動を伝えない配慮

シンプルでエレガント、かつリジッドに組み上げられたMDF製キャビネットは、設置面からの振動をシャットアウトすることでピュアな音楽再生を確保しています。

“Lumina I”では、バスレフポート部が強固なフットとしても機能し、不要振動の伝播を抑制

しています。

“Lumina III”では、キャビネットを床面からアイソレートするスパイクをそなえ、床面からの振動要因をキャビネットに伝えない設計としています。



- ◀(左端) フロントバッフルの積層構造。
- ◀“Lumina I”のバスレフポート。ユニット背圧を前面に放射します。
- ▶付属のサラネットは、マグネット式にて容易に着脱できます。



“ルミナ”のために カスタマイズされたユニット群。



■透明な高域、緻密な中低域

“ルミナ”コレクションでは、ドライバーユニットも、すべて専用モデルとして新たにカスタマイズされています。

“Lumina I”、“Lumina III” いずれも、高域に、ソナス・ファベール伝統の“アローポイント D.A.D”(Damped Apex Dome)を採用。29mm口径ソフトシルク・ダイアフラムの頂点をダンピングすることで、ボイスコイルの逆相挙動を抑え、豊かな音場と、透明感に満ちた伸びやかな高域再生を実現します。

“Lumina I”の中・低域には、このコレクションのために新規設計された120mm口径ミッドウーファーを採用。セルロースパルプをはじめとする天然繊維をベースにしたペーパーダイアフラム、カスタムメイドの強靱なバスケットを使用し、緻密でナチュラルな再現性を獲得しています。



アローポイントD.A.Dシルクドーム (共通)



120mm口径ミッドウーファー (Lumina I)

■明快な再現性と力感

フロアスタンディングモデル“Lumina III”の中域は150mm口径で、自然乾燥させた天然繊維をブレンドした、軽量にしてリジッドなダイアフラムを採用。相互変調歪みを低減する同軸フェーズプラグの搭載と相まって、明快な再現性を発揮します。

2本のウーファーは、いずれも150mm口径で、中域同様ペーパーパルプコーンを採用したことにより、中域との音色の一体感を確保し、歯切れよくエネルギー感にあふれた低域再現を可能にしています。



150mm口径ミッドレンジ (Lumina III)



150mm口径ウーファー (Lumina III)

■高精度クロスオーバー回路

このコレクションのためにカスタマイズされたドライバーユニットのポテンシャルを余すところなく引き出し、スムーズに結ぶべく、クロスオーバーネットワークも細心の設計に徹しています。

“アイーダII”、“オマージュ・トラディション”といった上位シリーズにおいて確立されたソナス・ファベール独自の“パラクロス・トポロジー”に基づき、振幅／位相特性を最適化。コンデンサー類は、このコレクション専用として開発されています。



クロスオーバー回路 (Lumina III)

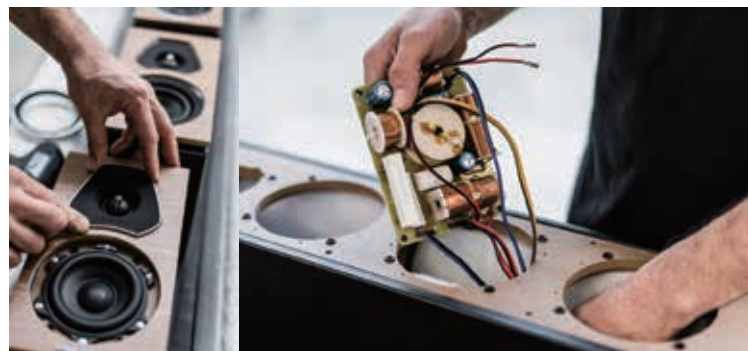


▲バイワイヤリング／バイアンプ接続に対応、リスニングの楽しみを広げます。

そこに共通するのは、 イタリアンメイドの誇り。

“ルミナ”コレクションは、北イタリア・ヴィチエンツァのソナス・ファベール工房にて設計・開発され、クラフトマンシップに貫かれた入念な手作業によって組み上げられています。

素材の厳選、度重なる試聴を経て、精魂込めて一台一台を送り出すその姿勢は創業以来変わることなく、世界中のオーディオファイルから信頼される礎となっています。ソナス・ファベールのすべての製品に共通するもの、それはイタリアンメイドの誇りです。



ホームシアターを ソナス・ファベールの音で。

“ルミナ”コレクションでは、“ソナス・ファベールの音”で統一されたホームシアターシステムを構築していただけるよう、センタースピーカー“Lumina Center”をご用意しています。

“Lumina Center”は、シリーズ共通の“アローポイントD.A.D”を高域に採用、中・低域を“Lumina I”と同様の120mmミッドウーファー2本で構成した2ウェイシステムで、“Lumina I”同様の前面放射型バスレフポートをそなえています。



Specifications

	LUMINA I	LUMINA III	LUMINA CENTER
●形式	2ウェイ 2スピーカー バスレフ方式 ブックシェルフ型	3ウェイ 4スピーカー バスレフ方式 フロアスタンディング型	2ウェイ3スピーカー バスレフ型
●使用ドライバーユニット			
高域	29mm アローポイントD.A.D シルク・ソフトドーム型	←	←
中域	(中・低域) 120mm コーン型	150mm コーン型	(中・低域) 120mm コーン型 × 2
低域	—	150mm コーン型 × 2	—
●周波数特性	65~24,000Hz	40~24,000Hz	65~24,000Hz
●クロスオーバー周波数	2,000Hz	350Hz/3,500Hz	2,000Hz
●出力音圧レベル	84dB/W/m	89dB/W/m	87dB/W/m
●公称インピーダンス	4Ω	←	←
●最大入力電圧	15.5Vrms	22Vrms	15.5Vrms
●出力端子	バイワイヤリング対応 (HIGH/LOW)	←	←
●寸法 (突起部含む)	幅 148×高さ 280×奥行き 220mm	幅 229×高さ 985×奥行き 278mm	幅 524×高さ 169×奥行き 213mm
●重量	4.5kg/本	16kg/本	7.6kg/本
●仕上げ	ウォルナット、ウェンジ、 ピアノブラック	←	←

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがありますのでご了承ください。
- 弊社の定める日本国内の希望小売価格に配送料は含まれません。